

公開番号 PD06_22-002-02	
倫理審査承認日	2022年2月18日(新規), 2025年1月27日(終了)
試料・情報の 利用目的・利用方法	膵癌の早期診断のための新規診断体系を確立する。
提供される試料・情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 試料の種類：膵液</li> <li>● 提供元機関：鳥取大学</li> <li>● 試料・情報提供者：</li> </ul> <p>2011年11月2日から2014年3月31日に鳥取大学における臨床試験（研究課題名：KL-6 関連抗体、CEA の膵胆道癌診断補助における検証試験【整理番号：1774】）において、検査時の膵液採取に同意いただいた方の膵液の残余検体を用いる。</p>
利用する者	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 旭川医科大学 内科学講座 病態代謝・消化器・血液腫瘍制御内科学分野（がんゲノム医学部門）（研究責任者：高橋 賢治）</li> <li>● 鳥取大学 機能病態内科学分野（第二内科）（研究責任者：武田 洋平）</li> <li>● 札幌東徳洲会病院 医学研究所（研究責任者：小野 裕介）</li> <li>● H.U.グループ中央研究所・事業開発室（研究責任者：犬塚 達俊）</li> </ul>
弊社における試料・情報の管理責任者	H.U.グループ中央研究所・事業開発室 犬塚 達俊
オプトアウトの機会提供	弊社では情報と個人を結びつけることができないためオプトアウトの機会提供は致しません。

公開番号 PD12_23-PR06-00	
倫理審査承認日	2025年4月24日
情報の利用目的・利用方法	アルツハイマー病をはじめとした神経変性疾患診断への血液バイオマーカーの有用性を評価・検討する。利用は情報のみ。
提供される情報	<p><u>情報の種類</u>：臨床情報（臨床診断名 合併症 既往歴 年齢 性別 身長 体重 認知機能・PET 検査および脳脊髄液および血液バイオマーカー測定結果）</p> <p><u>提供元機関</u>：地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター、国立大学法人東京科学大学、国立大学法人新潟大学</p> <p><u>情報提供者</u>：</p> <p>以下の研究課題に参加していただいた方が対象となります。</p> <p>①「認知症に対する血漿中バイオマーカーの性能評価に関する研究」新潟大学承認番号 2023-0087 研究代表者 池内 健（2023年7月以降）</p> <p>②「認知症バイオマーカー測定」東京都健康長寿医療センター 承認番号【R22-033】研究代表者 岩田 淳（2023年10月以降）</p> <p>③「認知症のバイオマーカーの測定」東京科学大学 承認番号 M2022-215 研究代表者 横田隆徳（2023年2月以降）</p>
利用する者	国立大学法人 新潟大学 脳研究所 富士レビオ株式会社 研究開発本部

弊社における試料・情報の管理責任者	富士レビオ株式会社 研究開発本部 本部長 青柳 克己
オプトアウトの機会提供	オプトアウトの機会提供有り。
オプトアウトの受付方法	<p>弊社では試料・情報と個人を結びつけることができないためオプトアウトの機会提供は致しません。オプトアウトを希望される場合は、下記の情報記載の上、以下のアドレスにメールにてご連絡ください。</p> <p>[記載する情報]</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・申請番号：2023-0087</li><li>・研究課題名：認知症に対する血漿中バイオマーカーの性能評価に関する研究</li><li>・研究へ参加された施設名</li></ul> <p>[お問い合わせ先]</p> <p>所属：新潟大学 脳研究所 遺伝子機能解析学分野 氏名：池内 健 メールアドレス：<a href="mailto:ikeuchi@bri.niigata-u.ac.jp">ikeuchi@bri.niigata-u.ac.jp</a></p>

公開番号 PD13_25-008-00	
倫理審査承認日	2025年10月7日
試料・情報の 利用目的・利用方法	片側性原発性アルドステロン症の診断ソフトウェアの有用性を評価する。
提供される試料・情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 試料・情報の種類：血液から測定した測定値、年齢および性別等のカルテ情報を含む</li> <li>※血液自体を当社に持ち込むことはないが、当社社員が慶應義塾大学病院にて血液を用いて測定を行い、その結果を当社で解析する。</li> <li>● 提供元機関：慶應義塾大学病院</li> <li>● 試料・情報提供者：埼玉医科大学国際医療センター・横浜労災病院・練馬光が丘病院にて原発性アルドステロン症（primary aldosteronism: PA）が疑われ、片側性 PA と診断された場合に片側副腎摘除術を受けることが妥当と考えられる者のうち、「片側性原発性アルドステロン症の診断に副腎静脈サンプリングが必要か否かを判別するソフトウェア（Uni-APA Predictor）の有用性を確立するための前向き観察研究」への参加に文書で同意した患者様</li> </ul>
利用する者	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 埼玉医科大学国際医療センター（研究責任者：小山 政史）</li> <li>● 横浜労災病院（研究責任者：中井 一貴）</li> <li>● 慶應義塾大学病院（研究責任者：松下 弘道）</li> </ul>

	●富士レビオ株式会社（研究責任者：山本 晶子）
試料・情報の 管理責任者	富士レビオ株式会社 製品企画本部 山本 晶子
オプトアウトの機会提供	弊社では情報と個人を結びつけることができないためオプトアウトの機会提供は致しません。